

トップメッセージ

「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指して活動してまいります

株主の皆様には、平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第46期、当社グループは、これまで取り組んできた技術研究や開発案件の中で培った様々な技術分野でのノウハウを活かし、特に最新の技術分野や経験の深い業務分野のシステム開発等におきまして積極的な受注活動を行ってまいりました。一方で、人材採用の拡大・短期間での技術者育成・ビジネスパートナーとの連携による体制の強化や、新たなプロダクト・サービスの創出と既存プロダクトの拡販、海外マーケットにおけるビジネスの創出と人材の確保に加え、長期的な研究開発テーマの事業化を推進するなど、中期方針である「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指し、更なる成長と付加価値向上の為の先行投資にも積極的に取り組んでまいりました。

今後につきましても、既存事業分野の付加価値を一段と高めつつ、さらなる人員の強化を進め、当社が保有するICTに関する多くのノウハウを活用し、社会のニーズに応えることで、持続的な成長と付加価値向上を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



代表取締役 会長執行役員

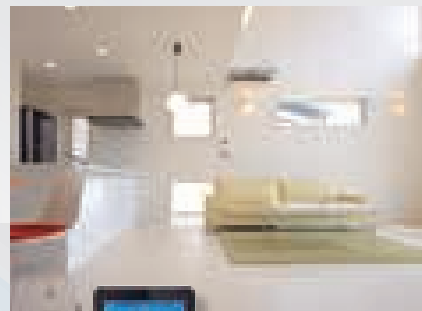
代表取締役 社長執行役員

野澤 宏

坂下 智保

FUJISOFT×ICT
ビジョン

FUJISOFTは 新価値創造カンパニー



CLOUD

CLOUD
COMPUTING

MOBILE

あらゆる業種・業態に 対応するクラウドサービス

国内自社データセンター4拠点を軸にプライベートなクラウド基盤を提供するIaaS、及びSaaSの「FSCloud」シリーズを業種・業態を問わず展開しています。また、4大パブリッククラウド（AWS、Google、Salesforce、Microsoft）などと連携し、プライベートからパブリックまでお客様のニーズに合わせた最適なサービスをご提案いたします。

いつでも、どこでも、
つながる世界

さまざまなデバイスで、
「いつでも、どこでも、つながる世界」
を実現

デジタル家電、モバイル、自動車、FA・OAなどあらゆる機器（デバイス）をクラウドと連携し、「いつでも、どこでも、つながる」を実現する世界を支えています。

例えば、スマートフォンやタブレットで専用サーバーにアップロードしたドキュメントをいつでも、どこでも、手軽に安全に閲覧できるサービス「moreNOTE」は、「モバイル×クラウド」の融合でお客様のワークスタイルの変革をご提案いたします。

コミュニケーションロボットの開発 を実現する先進の知能化技術

コミュニケーション知能、人感知能、移動知能、学習知能の4つの知能化技術を備えたコミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」。

高齢者福祉施設において介護予防や健康増進を目的にご活用いただいています。また、あらゆるエレクトロニクス製品にロボットテクノロジー（知能化技術）を組み込むことができるソフトウェア・プラットフォームをご提案いたします。

ROBOT
TECHNOLOGY



基本方針

ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ

お客様のさらなる「付加価値の向上」「新たなビジネスの創出」「競争優位性の強化」に繋げる

中期目標

高付加価値事業構造への挑戦と創造

付加価値の向上

現場力強化（体制整備）
マーケット創出（含 海外）
販管コスト適正化



プロダクト化・サービス化推進

クラウド（C）（含：ネット関連）
ロボットテクノロジー（R）
モバイル（M）（含：様々なデバイス）

<基本戦略>

受託ビジネス基盤の強化

プライム化の推進

プロダクト化の推進

グローバル化の推進

グループ力の強化

環境：ICTの発展とますます広がる人財ニーズ

ICTの発展加速

- 通信・クラウド利用・モバイル端末のさらなる発展、Machine Learning、人工知能の本格化

ICTの利用キーワード

- IoT、インダストリー4.0、自動運転、ロボット、人工知能、フィンテック

ユーザ企業の課題

- 新たな技術をどう利用するか
- 対応する人財が圧倒的に不足

新たなビジネスの芽

- マイナンバー、地方創生、電力自由化
新たなネットビジネスの発展

当社の強み

- 先進的なクラウド自社利用と強力なアライアンス Cloud
(AWS、Google、Salesforce、Microsoft、Concur 等)
- ロボット分野での実績 (PALRO、ロボット相撲 等) Robot
- 先進取組み・制御技術 Mobile
(自動車、通信、様々なOSへの対応、携帯・タブレット等の蓄積ノウハウ 等)
- 幅広い業務分野での実績 業界・業務ノウハウ
(製造、流通、金融、官公庁、教育、ネットビジネス 等)
- これを支える優秀なエンジニア力 人財力

自動車分野事業

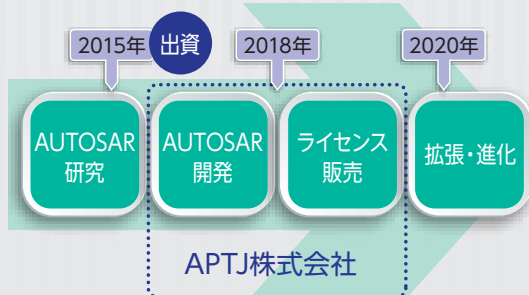
みらいの自動車を支える先進的組込ソフト

くるまには沢山のマイコンが搭載され安全で便利な機能をソフトウェアで制御しています。くるまの総開発費の半分以上がソフトウェア開発費となり、その重要性は年々高まっています。富士ソフトは国内有数の自動車制御ソフトベンダーとして活躍し、全ての自動車業界のお客様に高品質なソフトをご提供しています。

また、自動運転、電気自動車(EV)や燃料電池車(FCV)等、みらいの自動車テクノロジーについて、外部機関との共同研究を行っています。

車載制御システム向けソフトウェアプラットフォーム会社に出資

2015年11月：AUTOSAR^(※1)仕様をベースとした車載制御システム向けソフトウェアプラットフォーム(SPF)開発を目指すAPTJ株式会社^(※2)の第三者割当増資を引き受け、当社技術者の参画による人的支援も併せて実施



(※1) AUTOSAR
車載電子制御ユニット用の標準ソフトウェアアーキテクチャの策定団体や仕様の名称

(※2) APTJ株式会社
設立：2015年9月16日
本社：愛知県名古屋市
代表取締役会長：高田広章博士

名古屋第2オフィスを開設

東海地方での車載ソフトウェア開発の更なる市場の拡大を見込み、生産拠点として東海地方で5番目となる拠点「名古屋第2オフィス」を名古屋市中村区に開設。

開設時は200名のエンジニアを配置し、事業拡大により300名規模を目標

palro®



PALRO (パルロ) は2012年6月より、高齢者福祉施設に販売開始し、2015年12月より、さらに進化を遂げたコミュニケーションロボットです。

高齢者福祉施設を中心に累計約320施設の導入実績があり、あらたに金融機関へ導入されるなど広がりをみせています。



高齢者福祉施設向けの「PALROビジネスシリーズ高齢者福祉施設モデルⅡ」は、従来通りエンターテイナーとしてレクリエーションや日常会話で利用者様の笑顔を増やすのはもちろん、PALROがインストラクターとなって行う健康体操が強化されたことで、介護予防の効果を高めることができます。

- 2012年 6月：「PALRO」高齢者福祉施設に販売開始
- 2015年 5月：コンシューマ向け「Palmi」を株式会社DMM.com様へ供給
- 2015年 8月：プレゼン機能の強化により、地方銀行など金融機関への導入が増加、小学生への金融教育などに活用しています。
- 2015年12月：さがみロボット産業特区での介護予防効果実証実験に基づく新モデル発売

ハードウェアの改善や人工知能によるコミュニケーション機能の強化により、多様なシーンでの利用価値を向上

- 導入施設320施設 (累計)
- 導入金融機関5社 (累計)

moreNOTE[®]

moreNOTEは、多くの紙資料を使用する会議やプレゼンテーションなど、従来の働き方を変革するタブレットやスマートフォン、パソコン向けペーパーレスサービスです。2012年12月の販売開始以来、民間企業、中央省庁および自治体あわせ850団体を超えるお客様にご利用いただいています。

voice 神奈川県寒川町様

「議会審議や議員活動にmoreNOTEを利用し、年間約10万枚の紙資料削減に成功しました。moreNOTEは利便性にも優れているため、今では紙資料の運用には戻れないと感じています。」



SYNCNEL社の事業を譲受

2016年2月

SYNCNEL社の全事業譲受に関する契約を締結し、ファイル配信クラウドサービス「SYNCNEL」を提供開始。これにより、同サービス導入数でシェアNo.1となる見込み

みらいスクールステーション[®]

学校の既存設備を有効活用し、ごくごく安価に教育の現場を最新の教育環境へと進化させる総合教育ソリューション。2012年の商品化以降、約600校へ導入されています。

voice ご利用になっている学校のみなさま

「授業において教材コンテンツをリモコン一つで再生できる機能が、大変使い勝手がよいです。シンプルで使い易いため、教員のICT活用の頻度が格段にあがりました。まさに“みらいの学校に近づいた”と感じています。」



政令指定都市での大型受注

2016年1月：札幌市立小中学校への導入

2016年2月：横浜市立小中学校への導入決定

再生医療事業

当社は2005年から本格的に再生医療に取り組んでいます。再生医療については、2014年11月に再生医療等安全性確保法の施行により、規制が緩和され、再生医療関連産業の成長が促進されています。

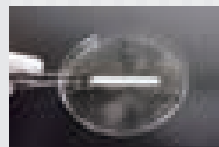
これまで再生医療に必要な細胞の培養や加工は、単一の医療機関で行われるか、あるいは医療機関の間で委託により行われる形態のみ認められていましたが、新法施行により、外部企業への委託も可能となりました。

それと同時に、細胞培養加工施設の基準や許可手続き、細胞の採取の実施手続きなどについても詳細に規定されました。富士ソフトでは、大学発の再生医療研究が事業化され、新たな治療法の一つとして提供されるよう支援して参ります。

インプラント型自己細胞再生軟骨の企業治験開始

2015年4月

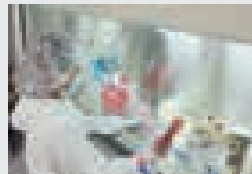
「インプラント型自己細胞再生軟骨」について企業治験を開始しました。今後、製造業・製造販売業取得および提供を予定しています。



特定細胞加工物製造許可を取得

2015年5月

当社子会社である、富士ソフト・ティッシュエンジニアリング(株)が特定細胞加工物製造許可を取得し、組織・細胞等の加工受託事業を開始しました。



再生医療アカデミアモデル提供開始

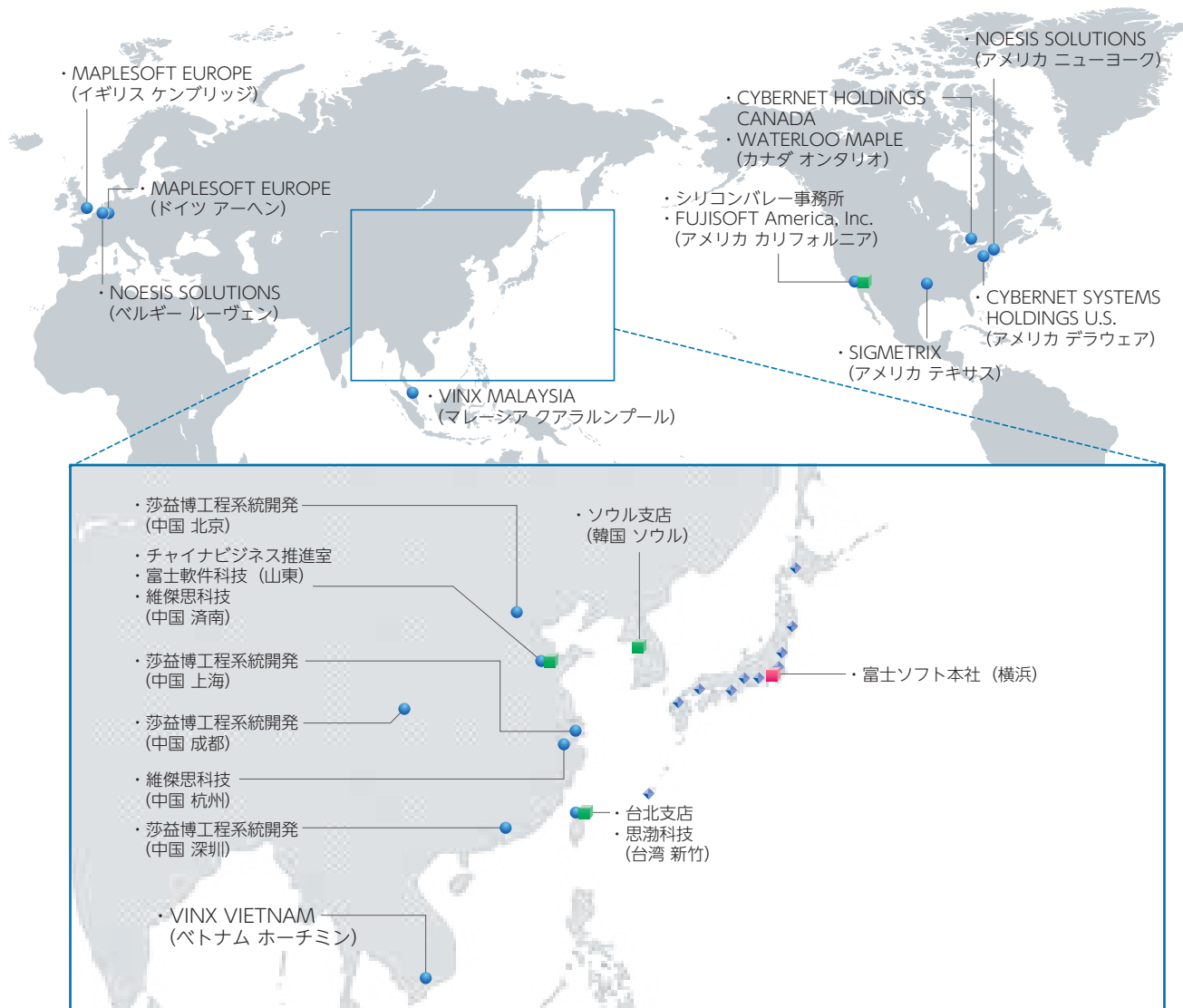
2015年8月

当社、富士ソフト・ティッシュエンジニアリング(株)のノウハウや施設を活用し、大学発の再生医療研究の事業化を後押しする「再生医療アカデミアモデル」の提供を開始しました。



グローバルネットワーク

■ 富士ソフト本社 ■ 富士ソフト支店／事務所 ● 富士ソフトグループ企業 ◆ 国内ネットワーク

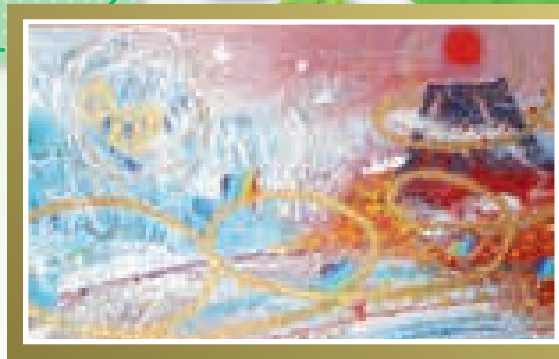


富士ソフトのCSR

富士ソフトグループは、「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指して活動していきます。

基本理念

- もっと社会に役立つ
- もっとお客様に喜んでいただける
- もっと地球に優しい企業グループ
- そして「ゆとりとやりがい」



富士ソフト本社ビルエントランス モザイク壁画「不二」

障がい者の就労拡大に向けた支援活動

富士ソフトグループの特例子会社である富士ソフト企画株式会社は、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業「就労移行支援事業」の事業者として平成26年12月1日より事業開始いたしました。

同社経営理念の「自立と貢献」を基本コンセプトとして、障がい者の自立を促し、一人でも多くの就労者を輩出したいという思いを込めて、「就職予備校」とネーミングし、昨年度は26名が利用し、8名の就労が決定致しました。



就労移行支援事業所・富士ソフト企画株式会社
就職予備校



自然災害時の被災地復旧支援と継続的過疎地区支援 震災被災地の地方創生に向けた支援活動

NPO法人「IT工房ひのき」が主催する支援活動に対して、当社社員が自然災害支援、過疎地での里山保全・雪かき支援やIT相談・パソコン教室などの社会貢献活動を積極的に行っています。

- 福島県（金山町・西会津町・三島町・昭和村）で雪かき、草刈、耕作放棄地支援活動を実施
- 茨城県常総市の鬼怒川決壊による災害支援、当社社員有志による義援金の寄付
- 岩手県三陸沿岸地域（大船渡市・宮古市・大槌町・田野畑村）でのIT相談、IT活用イベントを開催
- 岩手県三陸沿岸地域の人口減少・若年層の人口流出問題に取り組むべく、昨年10月から大船渡市での「ふるさとテレワーク事業」を開始し、地方創生に向けた活動を展開



招集ご通知

株主総会
参考書類

添付書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告書

株主通信
(二)参考)

「第27回全日本ロボット相撲大会」及び 「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT 2015」

当社主催 第27回全日本ロボット相撲全国大会が12月13日（日）に両国国技館で開催され、全国9地区で行われた地区大会を勝ち上がった123名の選手が、自慢のロボット64台とともに相撲の聖地・国技館にて“第27代横綱”の称号をかけて熱き戦いを繰り広げました。

第27代横綱に加え、高校生ロボット相撲全国大会の横綱も参加し、世界一を争う世界大会をトーナメント形式で開催し、自立型はトルコ、ラジコン型は日本が、栄えある世界1位の称号を手に入れました。



今年で27年、途絶えることなく続けてきた全日本ロボット相撲全国大会は、「ロボット作りを通して『ものづくり』の楽しさを知ってもらう場を提供すること」を目的に開催しております。

今後もロボット相撲大会を通じて、更に多くの世界中の皆様にも「ものづくり」の楽しさを知って頂き、またロボットテクノロジーを学びきっかけとして本大会が未永く続けられるよう、尽力して参ります。



当社が考案したロボット相撲大会は海を渡り、海外において「相撲ロボットの製作はロボットテクノロジーの習得に適している」と各国に高く評価されております。

現在、確認できるだけでも、ヨーロッパ、アジア、北米、中米、南米と17ヶ国でロボット相撲大会が開催されるほど世界的に普及しています。

【第2回世界大会】
海外から183名/14ヶ国が参加

アメリカ、エクアドル、カザフスタン、カナダ、コロンビア、トルコ、スペイン、ブラジル、ペルー、ポーランド、メキシコ、モンゴル、リトアニア、ルーマニア



※moreNOTE、PALROなどの名称は富士ソフトの日本及びその他の国における登録商標です。
その他すべての名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。